

令和 5 年度 事業報告書

1. 法人の概要
2. 事業の概要
3. 財務の概要

学校法人 九州学園

福岡県太宰府市五条四丁目 16 番 1 号

令和 5 年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は、「強く、正しく、優しく」を建学の精神とし、豊かな教養や人間性という全人教育を基礎に、社会の実務に対応できる技能を身につけた教育を目指している。

(2) 学校法人の沿革

明治 36 年(1903)	私立予修館開設
明治 40 年(1907)	九州高等女学校設立
大正 11 年(1922)	財団法人九州高等女学校に組織変更
昭和 23 年(1948)	財団法人九州学園に組織変更
昭和 26 年(1951)	学校法人九州学園に組織変更
昭和 41 年(1966)	九州学園福岡女子短期大学開設（家政科）
昭和 42 年(1967)	九州学園福岡女子短期大学 英語科、食物栄養科増設
昭和 45 年(1970)	九州学園福岡女子短期大学 文科（英語科を統合し、英語英文専攻、国語国文専攻とした）、音楽科増設
昭和 47 年(1972)	九州学園福岡女子短期大学を福岡女子短期大学に名称変更 専攻科設置（家政専攻・食物栄養専攻・英語英文専攻・国語国文専攻・音楽専攻）
昭和 49 年(1974)	福岡女子短期大学 家政科専攻分離（家政専攻、被服専攻）
昭和 51 年(1976)	野方幼稚園開設
昭和 55 年(1980)	法人分離（九州女子高等学校を別法人とする）
昭和 59 年(1984)	福岡女子短期大学 音楽科専攻分離（声楽専攻、器楽専攻）
昭和 60 年(1985)	福岡女子短期大学 家政科専攻名変更（被服専攻を服飾美術専攻）
昭和 61 年(1986)	福岡女子短期大学 秘書科増設
平成 2 年(1990)	福岡女子短期大学 家政科服飾美術専攻を廃止し、家政科生活造形専攻設置
平成 8 年(1996)	福岡女子短期大学 家政科（家政専攻・生活造形専攻）を生活学科（生活教養専攻・生活造形専攻）に名称変更、専攻科（家政専攻）を（生活専攻）に名称変更
平成 10 年(1998)	福岡国際大学 国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科開設
平成 11 年(1999)	福岡女子短期大学 生活学科の専攻を廃止
平成 15 年(2003)	福岡女子短期大学 生活学科、文科及び秘書科をビジネス学科及び文化コミュニケーション学科に改組・再編するとともに保育学科を新設
平成 16 年(2004)	福岡国際大学 国際コミュニケーション学部デジタルメディアコミュニケーション学科をデジタルメディア学科に名称変更
平成 26 年(2014)	福岡国際大学デジタルメディア学科廃止 福岡女子短期大学ビジネス学科廃止
平成 28 年(2016)	野方幼稚園 福岡女子短期大学附属野方幼稚園に名称変更
平成 30 年(2018)	福岡女子短期大学 食物栄養科を健康栄養学科に、文化コミュニケーション学科を文化教養学科に、保育学科を子ども学科に名称変更
平成 31 年(2019)	福岡国際大学 廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等

(令和5年5月1日現在)

学校・所在地	学 科 等	開設年月
福岡女子短期大学 (福岡県太宰府市五条四丁目16番1号)	健康栄養学科	昭和42年4月
	音楽科	昭和45年4月
	文化教養学科	平成15年4月
	子ども学科	平成15年4月
福岡女子短期大学附属野方幼稚園 (福岡県福岡市西区壱岐団地75-1)	—	昭和51年4月

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和5年5月1日現在)

福岡女子短期大学

(単位：人)

学科名	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
健康栄養学科	50	30	100	65
音楽科	50	21	100	36
文化教養学科	70	39	140	79
子ども学科	70	32	140	71
合 計	240	122	480	251

音楽専攻科	30	3	30	3
-------	----	---	----	---

(令和5年5月1日現在)

(単位：人)

園 名	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	収容定員	現員数
福岡女子短期大学 附属野方幼稚園	7	24	33	35	245	99

(5) 役員の概要 (令和5年5月1日現在)

理 事 7名 (定数 6～9名)

監 事 2名 (定数 2名)

評議員 17名 (定数 13～21名)

(6) 教職員の概要

(令和5年5月1日現在)

福岡女子短期大学	教員	32名 (教授17名、准教授6名、講師6名、助手3名)
	職員	17名
福岡女子短期大学附属 野方幼稚園	教員	9名
	職員	2名

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

● 福岡女子短期大学

① 本学の特長を生かした教育の実施

本学は、昭和 41（1966）年の開学以来、建学の精神「強く、正しく、優しく」のもと、「知識・情操・意志（知・情・意）」がバランス良く整った女性の輩出を目指し、女性の可能性を伸ばす教育を行ってきた。この建学の精神のもと、本学では教養教育と専門教育の二つの柱を中心に、人間性と専門性を兼ね備えた社会人の育成を目指し、教養教育では、学問や芸術などを通して、人間性や知性を磨き、人生を心豊かにする「力」を養う教育を行っている。教養教育については教養教育推進センターを中心に検討しており、令和 5（2023）年度も「社会人入門」において学生の基礎学力の向上を目的として「基礎力リサーチ」を実施し、その結果をもとに学生の指導を行った。

専門教育では、各学科が目指す専門的な職業に必要な知識・技術・態度を身に付けるための教育を行っている。令和 5（2023）年度は、カリキュラム改革により平成 30（2018）年度入学生から資格取得が可能となった健康栄養学科の「健康管理士」を 6 名、子ども学科の「こども音楽療育士」を 27 名が取得した。令和元（2019）年度入学生から資格取得が可能となった文化教養学科の「情報処理士」については 33 名が取得した。音楽科と文化教養学科では教職課程にも力を入れており、令和 5（2023）年度教員採用試験において福岡県に 2 名（中学校・音楽 1 名、中学校・国語 1 名）が合格した。

音楽科では、令和 5（2023）年度「音楽総合コース」の誕生にあわせてカリキュラムを変更したことに伴い、自分の目指す進路にあわせて学ぶことができる環境となった。

卒業後も努力・成長してほしいという思いを込め、各学科で卒業生対象のリカレント研修会を毎年実施している。令和 5（2023）年度から、教職課程のリカレント研修会も開始した。

地域社会の要請に応えるべく、教育理念「自ら行動する有能な社会人としての女性」、「専門の知識・技術をしっかり身に付け、その才を自ら伸ばす努力をする女性」の育成を実現するため、今後もカリキュラムの見直しを行っていく。

② 学生への支援活動体制

○クラス・アドバイザー制度により、学生の学修や生活に関する相談や指導についての学生面談を継続的に実施した。

○プレゼンテーション能力の向上のため、2 年間の学修成果の可視化を目的としたゼミナール発表会や卒業研究発表会を全学科において実施した。

○全学科で、単位取得が困難な学生及び自主的に学修を希望する学生に対して、個別指導やグループ学習による指導を実施した。

○健康栄養学科では、フードスペシャリスト試験、家庭料理技能検定試験の受験を希望するものの合格が困難と思われる学生や自主的に学修を希望する学生に対して、個別指導やグループ学習による指導を実施した。

○音楽科では、コンクールを受ける学生に対して、技術力と表現力の向上を図るため、個別レッスンを実施した。

○文化教養学科では、司書就職を希望する学生に対して、司書就職説明会及び司書就職対策講座（作文・面接）を実施した。

- 子ども学科では、学外実習前に実習予定園から指定された楽曲についてピアノ実技の個別指導を行い、また実習期間中には、学生への楽譜や音源提供等のサポートを実施した。
- 教職課程では、教員採用試験を受験する学生に対して、試験対策のための個別指導を実施した。
- 編入学を希望する学生に対して、編入学試験のための個別指導を実施した。
- キャリア支援課による丁寧な個別指導と学科との連携により、希望者全員就職という結果となった。
- 学生の自治的組織である学友会について、学友会協議会の場において学生委員会が指導し、学友会の主な活動である学園祭を4年ぶりに開催（一般開放）することができた。
- 学生相談室を設置し、カウンセラーにより相談体制を整えている。
- 学修・生活面で気になる学生についての情報を各学科で共有し、必要に応じて学生相談室と連携している。

③授業改善

授業評価アンケートの実施、授業評価アンケート結果の学内及び学外への公表、授業評価アンケート結果に基づく教員の授業改善計画書の提出、全教員参加のFD研修の実施、授業公開・授業参観、ティーチング・ポートフォリオの作成等、授業改善につながる内容の充実に努めており、令和5（2023）年度は全てを実施した。福岡女子短期大学授業実践教員表彰制度については、令和5（2023）年度は音楽科の教員が表彰された。

○ICT活用による授業改善

学生及び教員のICTスキルを向上させることにより、ICT活用による授業改善を継続している。授業において本学eラーニングサイトFWJConLineやZoomを活用し、またICTに関するFD研修を毎年実施し、教員のICT活用能力向上に努めている。学生には、履修登録システム等の事務システムを利用させ、入学時から卒業時まで4回の学生アンケートをWeb上で実施することにより、ICT活用を推進している。これらの学生アンケートは、IR室で分析を行い、教育内容の改善や学生指導・支援などの改善へ活用し、ホームページで結果を公表している。

④資格取得状況

健康栄養学科(栄養士)、子ども学科(保育士、幼稚園教諭2種免許)において、100%の取得率を達成した。音楽科及び文化教養学科では、福岡県教員採用試験に各1名が合格した。

【令和5年度実績】

学科名	資格名	卒業者数	取得者数	取得率
健康栄養学科	栄養士	35	35	100.0%
	栄養教諭		4	1.1%
音楽科	中学校教諭2種免許(音楽)	15	10	66.7%
	音楽療法士		6	40.0%
文化教養学科	司書	39	28	71.8%
	中学校教諭2種免許(国語)		3	7.7%
	司書教諭		2	5.1%
	学校司書		17	43.6%

	情報処理士		33	84.6%
子ども学科	保育士	39	39	100.0%
	幼稚園教諭2種免許		39	100.0%
	こども音楽療育士		27	69.2%

⑤就職状況

健康栄養学科、音楽科、文化教養学科、子ども学科の全学科において100%の就職率を達成した。

【令和5(2023)年度実績】

学科名	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率
健康栄養学科	35	29	29	100.0%
音楽科	15	8	8	100.0%
文化教養学科	39	30	30	100.0%
子ども学科	39	37	37	100.0%

※ 就職率は就職希望者に対する就職者数の割合

⑥研究活動に係る外部資金獲得状況

【令和5(2023)年度実績】

(単位：千円)

項目	交付件数	交付金額
文部科学省科学研究費	2	2,340
共同研究費	0	0
研究助成（公募）	0	0
合計	2	2,340

⑦入学者選抜

○入学試験結果（令和5年度実施）

(単位：人)

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
健康栄養学科	50	16	16	12
音楽科	50	27	26	22
文化教養学科	70	50	44	44
子ども学科	70	27	24	24
計	240	120	119	102
音楽専攻科	30	3	3	3

○志願者確保の方策

令和5年度は、オープンキャンパスへの動員数を増やし、年内入試での入学者増加を目標とし、各進学媒体からの資料請求者等の接触者へ向けて「Instagram」、「X：旧 Twitter」、「LINE」などのSNSを活用し、各学科の取り組みや教員、学生の情報を積極的に発信し、WEB広告による学校認知を広げることも行った。九州圏内で開催される「会場ガイダンス・高校内ガイダンス」については、昨年度と比較して会場ガイダンスへの参加数を減らし、直接高校生と接触が出来る高校内ガイダンスへの参加を増やし、来談者へ本学の情報を伝え、オー

ブンキャンパスへの参加を促した。高校訪問については、入試広報課を中心に訪問を実施し、福岡県内の高校へ推薦入試のお礼の訪問を学科教員で実施をした。オープンキャンパスは、7回実施をし、参加者数については全体延べ数、受験対象者数ともに前年度より減少し、全体の入学者数の減少に影響した。

⑧地域との交流関係

- 4年ぶりに地域の方を招いて学園祭（風早祭）を開催し、模擬店や各学科の学修成果の発表の場を設け、地域との交流を図ることができた。
- 太宰府キャンパスネットワーク会議のメンバーとして、市内5大学と太宰府市が定期的に会議を開催して、情報交換と地域社会貢献活動の企画と運営を実施している。また、本学学生も5大学の学生連絡会議の一員として、他大学の学生と共に市長との意見交換会やキャンパスフェスタなどを企画し、参加している。特に、「キャンパスフェスタ2023」では健康栄養学科、文化教養学科及び子ども学科の3学科が参加し、地域の方と交流を行った。
- 太宰府市教育委員会及び太宰府市社会福祉協議会との協定により、太宰府中学校における学修支援及び太宰府市民図書館における図書館実習等の活動を行った。また、本学の図書館を地域開放して、地域住民の方への図書の貸出も行っている。
- 健康栄養学科では、福岡県農業大学校及び長崎県五島市との協力によるレシピ開発、済生会二日市病院との協力によりヴィーガン食のレシピ研究を行った。
- 音楽科では、九州国立博物館及び老人ホーム等でコンサートを実施した。
- 文化教養学科では、筑紫野市民図書館におけるブックスタートと筑紫野市人形劇まつりに学生がボランティアとして参加した。また、太宰府市民図書館でのYAサービスの活性化に関する研究を図書館との共同で行っている。さらに、蔦屋書店イオンモール筑紫野の協力の下、学生が作成したPOP作品を書店の本とコラボ展示する企画を実施している。
- 子ども学科では、地域イベントの企画や参加、地域の保育園や附属幼稚園との作品交流を実施した。

⑨社会的活動（公開講座）

- 第1回 令和5（2023）年7月14日（金） ①14：00～ ②15：00～
「きゅーはくカフェコンサート No. 190」音楽科
- 第2回 令和5（2023）年7月22日（土） 10：30～11：30
「親子ふれあい体操」子ども学科 久留島彩織 講師
- 第3回 令和5（2023）年10月19日（木） 13：00～14：30
テーマ：「太宰府ゆかりの文学講座2」文化教養学科
「紫式部と筑紫の五節ー『源氏物語』人物造形の秘密ー」高橋 敬一 教授
- 第4回 令和5（2023）年11月16日（木） 13：00～14：30
テーマ：「太宰府ゆかりの文学講座2」文化教養学科
「吉井勇の歌行脚と太宰府」文化教養学科 桐生直代 准教授
- 第5回 令和5（2023）年12月7日（木） 13：00～14：30
テーマ：「太宰府ゆかりの文学講座2」文化教養学科
『万葉集』をよむ一文字とことばー 文化教養学科 藤田優子 講師
- 第6回 令和5（2023）年12月8日（金） 13：00～15：00

「クリスマスケーキを華やかにするデコレーション体験」健康栄養学科

第7回 令和5(2023)年12月9日(土) 10:30~11:30

「親子ふれあい体操」子ども学科 久留島彩織 講師

第8回 令和5(2023)年12月15日(金) ①14:00~ ②15:00~

「きゅーはくカフェコンサートNo.191」音楽科

第9回 令和6(2024)年3月2日(土曜) 14:00~16:00

「アート&ミュージックー楽器作りワークショップー」子ども学科 樋口和美 教授・
音楽科 井上幸一 准教授

⑩リカレント研修会

【令和5(2023)年度実績】

学科等	日程	内容
健康栄養学科	令和5(2023)年9月21日(木)	新人栄養士研修会
音楽科	令和6(2024)年2月18日(日)	ピアノの先生のためのスキルアップ講座
文化教養学科	令和6(2024)年2月10日(土)	図書館で働くということ
子ども学科	令和5(2023)年6月25日(日)	保育業界の現状について
	令和6(2024)年3月17日(日)	インクルーシブ保育の実践
教職課程	令和6(2024)年3月9日(土)	2023年度教職学び合い(リカレント教育)

⑪自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会において、令和4(2022)年度に受審した一般財団法人 大学・短期大学基準協会により認証評価の機関別評価結果にて指摘された「(2) 向上・充実のための課題」の対策と今後の方針をまとめたものを令和5(2023)年度の自己点検・評価報告書とすることが決定され、報告書を作成した。各委員会及び学科ごとの活動内容は、各学科・委員会における2023年度の報告及び今後の課題としてまとめ、教授会で報告した。また、教員の教育・研究活動等については、本学における教育活動に関するティーチング・ポートフォリオを作成し、研究業績とあわせて本学ホームページを通じて公表している。

⑫教育の質保証

2年間の学修成果の可視化を目的として令和元(2019)年度から実施している卒業研究・ゼミナール等の発表会については、令和5(2023)年度は文化教養学科において対面とオンラインのハイブリッド方式で実施となったものの、他の3つの学科では対面で実施した。

学生の学修成果の獲得状況は各学科で分析し、部科長会議で報告して情報共有を行った。学科の報告を受けた後、アセスメント・ポリシーに関する具体的な評価方法(アセスメント・チェックリスト)に基づいて全体の学修成果の評価を行った。カリキュラム・ポリシー(CP)、ディプロマ・ポリシー(DP)及びアセスメント・チェックリストは、教務委員会と部科長会議で定期的に見直している。音楽科に音楽総合コースが設置されたため、令和5(2023)年度から、音楽科のCP及びDPを改定した。

● 福岡女子短期大学附属野方幼稚園

①本園の特長を生かした教育の実施

幼児期は遊びを通してたくさんのことを学んでいくことを踏まえ、本園では、遊びの要素を基礎に、集団生活の中でのびのびと主体的に活動し多くのことを学び合い、思いやりの心や人と関わる力、社会性を学び、「強く、正しく、優しく」、逞しく生きていく人間形成の土台となる基礎を育てる教育を行っている。

令和5年度は、園外保育を増やし、年長組は地下鉄車両基地見学をおこない、年中組は福岡タワー見学を行った。又、すべての園行事をほぼコロナ禍前に戻し、小学校を借りての運動会も全学年一緒に人数制限なしで賑やかに行うことが出来、好評であった。

又、本園は音楽、体育、英語教育を専門講師が指導していることも特徴である。毎年保護者が楽しみにしている生活発表会では、音楽教育の中で行う年長組オペレッタなども、感染症に気を付けながら順調に練習を重ね、子どもたちが主体となり楽しく発表することが出来た。3学期は全学年音楽発表会で合唱合奏を披露し、子どもたちの成長した姿を保護者に披露出来た。

②入園結果（令和5年度実施）

学年	入園児数	在園児数
2歳児	8	8
年少組	20	33
年中組	2	23
年長組	4	36
計	34	100

○志願者確保の方策

新入園児確保のための取り組みとして、未就園児を対象とした園庭開放「ちびっこ広場」において製作物を作成する等を企画した。自由に遊ぶだけでなく希望する親子を集め、教員が短時間ながら保育をする事で参加者も少しずつ増えた。また、土曜日開催の園庭開放「わくわくサタデー」においても同様に企画を立て、新入園児だけでなく在園児卒園児も楽しめるよう取り組んだ。

又、未就園児親子教室の保育内容を充実させ、親子で楽しい経験が出来るように取り組んだ。親子教室に慣れてくると、2歳児プレクラスへ移動し、その後2歳児クラスへ入園する子どもが多くなる傾向にある。さらに多くの未就園児親子に入会してもらえるよう、ポスター掲示やホームページでの広告を行った。この結果、前年度の新入園児数は20名から、今年度新入園児数は34名となった。さらに入園希望者を増やすために、全職員で保育の質を高め、今後もInstagramやブログにて園児の日頃の園生活の様子や行事の様子を引き続きこまめに発信していく。

(2) 令和 6 年度入試結果（令和 5 年度実施）

（単位：人）

学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
福岡女子短期大学				
健康栄養学科	50	16	16	12
音楽科	50	27	26	22
文化教養学科	70	50	50	44
子ども学科	70	27	24	24
学校合計	240	120	119	102
音楽専攻科	30	3	3	3
福岡女子短期大学附属野方幼稚園				
	－	34	34	34

(3) 役員賠償責任保険への加入状況

改正私立学校法に基づく役員の学校法人に対する責任（善管注意義務等）負担が明確になったことから、賠償リスク等に備えるため令和 3 年 4 月より保険に加入しており、令和 5 年度についても以下のとおり役員賠償責任保険を締結している。

契約期間：令和 5 年 4 月 1 日午後 16 時から令和 6 年 4 月 1 日午後 16 時まで

保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

保険料：年間 105,750 円

保険金：上限 100,000,000 円

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表関係

ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位：百万円)

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
固定資産	4,761	4,288	3,944	3,641	3,220
流動資産	293	383	385	169	308
資産の部合計	5,054	4,671	4,329	3,810	3,528
固定負債	581	504	466	416	378
流動負債	147	185	207	138	144
負債の部合計	728	690	673	554	522
基本金	8,203	8,191	8,258	8,247	8,234
繰越収支差額	△3,877	△4,210	△4,602	△4,991	△5,228
純資産の部合計	4,325	3,918	3,655	3,256	3,006
負債及び純資産の部合計	5,054	4,671	4,329	3,810	3,528

イ)財務比率の経年比較

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
運用資産余裕比率	118.1%	85.6%	64.7%	49.4%	40.9%
流動比率	199.2%	206.7%	185.5%	123.0%	214.3%
総負債比率	14.4%	14.8%	15.6%	14.6%	14.8%
前受金保有率	243.3%	303.4%	260.0%	183.0%	368.9%
基本金比率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②資金収支計算書関係

ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

収入の部	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
学生生徒等納付金収入	374	367	356	332	314
手数料収入	6	5	5	4	4
寄付金収入	0	3	1	0	200
補助金収入	114	132	176	125	119
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	28	21	26	26	22
受取利息・配当金収入	0	0	0	0	0
雑収入	27	76	49	8	20
借入金等収入	0	50	50	0	0
前受金収入	108	97	109	88	78
その他の収入	253	409	333	185	206
資金収入調整勘定	△129	△189	△191	△114	△106
前年度繰越支払資金	343	263	294	284	161
収入の部合計	1,126	1,244	1,209	938	1,021

支出の部	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人件費支出	479	541	460	411	405
教育研究経費支出	230	206	187	181	198
管理経費支出	109	107	108	112	124
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	2	7	57	7
施設関係支出	18	0	47	6	6
設備関係支出	41	21	68	5	3
資産運用支出	10	110	0	0	0
その他の支出	30	23	66	26	30
資金支出調整勘定	△ 54	△ 60	△ 17	△ 21	△ 42
翌年度繰越支払資金	263	294	283	161	289
支出の部合計	1, 126	1, 244	1, 209	938	1, 021

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

科 目	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	541	600	563	496	680
教育活動資金支出計	818	852	754	704	727
差引	△ 277	△ 252	△ 191	△ 208	△ 47
調整勘定等	38	△ 29	△ 8	18	△ 2
教育活動資金収支差額	△ 238	△ 281	△ 199	△ 190	△ 49
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	209	293	211	0	1
施設整備等活動資金支出計	68	131	114	10	10
差引	140	162	97	△ 10	△ 9
調整勘定等	7	△ 8	△ 42	47	△ 4
施設整備等活動資金収支差額	148	154	55	36	△ 13
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 90	△ 127	△ 144	△ 153	△ 62
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	10	160	141	90	201
その他の活動資金支出計	0	3	7	59	10
差引	10	157	134	30	191
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	10	157	134	30	191
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 79	30	△ 10	△ 123	129
前年度繰越支払資金	343	263	294	283	160
翌年度繰越支払資金	263	293	283	160	289

ウ)財務比率の経年比較

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育活動資金収支差額比率	△83.5%	△53.4%	△66.0%	△38.3%	△33.1%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

科 目		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	374	376	356	332	314
	手数料	6	5	5	4	4
	寄付金	1	3	1	1	200
	経常費等補助金	104	119	125	125	119
	付随事業収入	28	21	26	26	22
	雑収入	35	129	49	38	34
	教育活動収入計	549	653	563	526	694
	事業活動支出の部					
	人件費	464	485	437	408	392
	教育研究経費	405	386	365	377	385
	管理経費	137	132	134	137	147
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	1,007	1,003	935	922	923
	教育活動収支差額	△458	△349	△372	△395	△229
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	0	0	0	0	0
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
特別収支	教育活動外収支差額	0	0	0	0	0
	経常収支差額	△458	△349	△372	△395	△229
	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	10	14	51	0	1
	特別収入計	10	14	51	0	1
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	5	10	5	4	21
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	6	10	5	4	21
	特別収支差額	4	4	46	△4	△20
	基本金組入前当年度収支差額	△344	△367	△349	△399	△250

基本金組入額合計	△ 13	△ 7	△ 67	△ 5	△ 0
当年度収支差額	△466	△ 351	△ 392	△ 405	△250
前年度繰越収支差額	△3,410	△3,877	△4,210	△4,602	△4,992
基本金取崩額	0	19	224	16	14
翌年度繰越収支差額	△3,877	△4,210	△4,602	△ 4,991	△5,228

(参考)

事業活動収入計	559	668	615	527	695
事業活動支出計	1,013	1,013	941	927	945

イ)財務比率の経年比較

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
人件費率	84.6%	74.2%	77.6%	77.5%	56.5%
教育研究経費比率	73.7%	58.9%	64.7%	71.5%	55.4%
管理経費比率	25.0%	20.2	23.6%	26.1%	21.2%
学生生徒等納付金比率	68.1%	57.5%	63.2%	63.1%	45.3%

(2) その他

①補助金の状況

(単位:百万円)

内容	施設	金額
私立大学等経常経費補助金	福岡女子短期大学	54
修学支援制度授業料減免給付金	福岡女子短期大学	28
福岡県私立学校経常費補助金	福岡女子短期大学附属野方幼稚園	30
福岡市私立幼稚園運営補助金	福岡女子短期大学附属野方幼稚園	5
福岡市幼稚園教諭等確保事業補助金 他	福岡女子短期大学附属野方幼稚園	1
合計		119

(3)経営状況の分析

①決算の概要

当期の学生生徒納付金収入は、学生数の減少により、法人全体では前期比 18 百万円減少の 314 百万円となった。学生生徒納付金収入を含めた教育活動収入は 694 百万円となった。

当期の教育活動における支出は、人件費は減少したが、教育研究経費、管理経費が増加し、法人全体では前期比 1 百万円増の 923 百万円となった。

上記により、当期の経常収支差額は 229 百万円の支出超過となった。

当期末における純資産の残高は 3,006 百万円と前期末に比べ 250 百万円の減少となった。

また現金預金残高は 289 百万円となっている。

②来期以降の見込み

来期は、福岡女子短期大学の学生数の減少を主因として教育活動収入の減少が見込まれる。

しかしながら、令和 6 年 3 月より、国際医療福祉大学・高邦会グループの支援を受け、学生募集の強化と教育の質を確保しつつ経費の見直しを行い、経営再建に向けた取組みを強化する予定。